

申 立 書

記入例

所属名	〇〇小学校				
職 名	教諭	氏 名	阿蘇生 太郎		
被扶養者氏名	阿蘇生 父男	続 柄	父	年 齢	61
同居別居の別	同居・別居	別居の場合の住所	阿蘇山5合目1-4		

申 立 事 項	被扶養者の年間収入額 被扶養者の配偶者の年間収入額 計(A)
	(0) + (0) = (0)
	* (A)は、260万円未満ですか。(はい ・ いいえ)
	※被扶養者と別居の場合は記入してください。
	被扶養者の年間収入額 職員の送金額 職員以外の送金額 (0) + (960,000) + (480,000)
計(B) (B)/3 = (1,440,000) (480,000)	
* 職員の送金額は、被扶養者の全収入(B)の3分の1以上ですか。 (はい ・ いいえ)	
[扶養を必要とする理由を具体的に記入し、別居の場合は送金方法、金額、被扶養者の生計等を詳細に記入してください。]	
わたしの父 阿蘇生 父男 は、定年退職後、現在無職無収入で、同様に、母 母美 も無職無収入です。また、私は両親の自宅とは別に自分の自宅があるため両親とは別居しております。父 父男は私から月々8万円、妹から月々4万円の送金により生計を立てております。	
よって、私の扶養が必要であることを申し立てます。	

上記のとおり申し立てます。

平成 年 月 日
住所 〇〇〇〇〇〇
職名 教諭 氏名 阿蘇生 太郎 (印)
様

上記記載事項は、事実と相違ないことを証明します。

平成 年 月 日
所属名 〇〇小学校
所属長職氏名 校長 〇〇 〇〇 (印)

申 立 書

記入例

所属名	〇〇小学校				
職 名	教諭	氏 名	阿蘇生 太郎		
被扶養者氏名	阿蘇生 父男	続 柄	父	年 齢	62
同居別居の別	同居・別居		別居の場合の住所		

申 立 事 項	被扶養者の年間収入額 被扶養者の配偶者の年間収入額 計(A)
	(1,000,000) + (0) = (1,000,000)
	* (A)は、260万円未満ですか。(はい・いいえ)
	※被扶養者と別居の場合は記入してください。
	被扶養者の年間収入額 職員の送金額 職員以外の送金額 () + () + ()
計(B) (B)÷3 =() ()	
* 職員の送金額は、被扶養者の全収入(B)の3分の1以上ですか。 (はい・いいえ)	
[扶養を必要とする理由を具体的に記入し、別居の場合は送金方法、金額、被扶養者の生計等を詳細に記入してください。] わたしの父 阿蘇生 父男 は、定年退職後、現在無職であり、年金収入が年間100万円程度ありますが、少なく、同様に、母 母美 も無職無収入です。私に兄弟姉妹はおらず、私の収入によって生計を立てております。 よって、私の扶養が必要であることを申し立てます。	

上記のとおり申し立てます。

平成 年 月 日
住所 〇〇〇〇〇〇
職名 教諭 氏名 阿蘇生 太郎 (印)
様

上記記載事項は、事実と相違ないことを証明します。

平成 年 月 日
所属名 〇〇小学校
所属長職氏名 校長 〇〇 〇〇 (印)

申 立 書

記入例

所属名	〇〇小学校				
職 名	教諭	氏 名	阿蘇生 太郎		
被扶養者氏名	阿蘇生 父男	続 柄	父	年 齢	61
同居別居の別	同居・別居	別居の場合の住所	阿蘇山5合目1-4		

申 立 事 項	被扶養者の年間収入額 被扶養者の配偶者の年間収入額 計(A)
	(600,000) + (0) = (600,000)
	* (A)は、260万円未満ですか。(はい)
	※被扶養者と別居の場合は記入してください。
	被扶養者の年間収入額 職員の送金額 職員以外の送金額 (600,000) + (360,000) + (0)
計(B)	(B)÷3
= (960,000) (320,000)	
	* 職員の送金額は、被扶養者の全収入(B)の3分の1以上ですか。 (はい)
	[扶養を必要とする理由を具体的に記入し、別居の場合は送金方法、 金額、被扶養者の生計等を詳細に記入してください。] わたしの父 阿蘇生 父男 は、定年退職後、パートタイムで働いており、 年間60万円程度の収入があり、母 母美 は無職無収入です。また、私は両 親の自宅とは別に自分の自宅があるため両親とは別居しております。父 父 男は私から月々3万円の送金と父の収入により生計を立てております。 よって、私の扶養が必要であることを申し立てます。

上記のとおり申し立てます。

平成 年 月 日
住所 〇〇〇〇〇〇
職名 教諭 氏名 阿蘇生 太郎 印
様

上記記載事項は、事実と相違ないことを証明します。

平成 年 月 日
所属名 〇〇小学校
所属長職氏名 校長 〇〇 〇〇 印

申 立 書

記入例

所 属 名	〇〇立〇〇学校				
職 名		氏 名			
被扶養者氏名	〇〇 〇〇	続 柄	父	年 齢	85
同居別居の別	同居・ 別居	別居の場合の住所	〇〇〇市〇〇123		
申 立 事 項	被扶養者の年間収入額 被扶養者の配偶者の年間収入額 計(A)				
	(603,844) + (623,440) = (1,227,284)				
	* (A)は、260万円未満ですか。(はい) ・ いいえ)				
	※被扶養者と別居の場合は記入してください。				
	被扶養者の年間収入額 職員の送金額 職員以外の送金額 (603,844) + (600,000) + (180,000)				
申 立 事 項	計(B) (B)÷3 = (1,383,844) (461,281)				
	* 職員の送金額は、被扶養者の全収入(B)の3分の1以上ですか。 (はい) ・ いいえ)				
	[扶養を必要とする理由を具体的に記入し、別居の場合は送金方法、 金額、被扶養者の生計等を詳細に記入してください。]				
	私の父、〇〇は国民年金を年額603,844円受給しており、平成 年 月 日付で介護老人福祉施設〇〇に入所しました。 施設の負担額は〇〇円で、父は年金収入以外に、私から年額60万円、妹 から年間18万円の送金を受け生計を立てております。 よって、私の扶養が必要であることを申し立てます。				
	上記のとおり申し立てます。				
平成 年 月 日 住所 〇〇〇〇〇〇 職名 氏名 (印) 認定権者 様					
上記記載事項は、事実と相違ないことを証明します。					
平成 年 月 日 所 属 名 〇〇立〇〇学校 所 属 長 職 氏 名 校長 〇〇 〇〇 (印)					